

清流通信「四万十川物語」

第52章（平成13年6月10日）

送信者：高知県 四万十川流域振興室

TEL(088)823-9795 FAX(088)823-9296 E-mail shimanto@pref.kochi.jp

四万十川財団きこり 樵養成塾

清流通信の読者のみなさま、こんにちは。今回は、活動2年目に入った四万十川財団の事業の中から、今年から新たに始めようとしています樵（きこり）養成塾について、ご紹介します。

四万十川の清流の豊かさを保つためには、周囲の森林、特にその約7割を占めている人工林の手入れをすることが重要です。

このため、四万十川財団は、ボランティアを募り、間伐などの手入れ作業を進めていくこととしています。そして、その作業には一定の技術が必要ですので、この樵養成塾ではその人材を育てることを、ねらいとしています。

募集は、8月頃から開始しますので、参加希望の方は、今から心づもりをお願いします。



事業の主な内容は、次のとおりです。

- ・ 2泊3日（11月）、3泊4日（1月）の日程で研修を行う予定です。
- ・ 実施場所は、四万十川源流点近くの高知県森林センター（東津野村船戸都4727）と船戸地区所有林です。
- ・ 研修生は、10人程度を予定しており、2万円程度の受講料（宿泊費と交通費は別途自己負担）をお支払いいただくことを考えています。
- ・ カリキュラムは、日本森林ボランティア協会が実施している講座を参考にして定めます。

この研修を契機に、四万十川流域の森林の再生に向けて、今後、多くの人々が参画していただくようになればと願っています。

詳しいことのお問い合わせ先：財団法人 四万十川財団

TEL 0880-29-0200

FAX 0880-29-0201

E-mail zaidan@shimanto.or.jp

URL <http://www.shimanto.or.jp>

トピックス

高知県立四万十高校が「第2回高校生自然環境サミット」を8月1日（木）から3日（金）にかけて開催します。このサミットは、昨年、四万十高校の姉妹校である群馬県立尾瀬高校が第1回を開催してスタートしたもので、高校生が企画し、高校生が運営する、高校生のためのサミットとすることを基本としています。

昨年は、四万十高校、尾瀬高校をはじめ屋久島高校など16校が集まりましたが、今年も同程度で計画されています。

なお、詳しくは、

四万十高校のホームページ（<http://www.edu.net-kochi.gr.jp/home/shiman-h/>）をご覧ください。

昨年12月には窪川高校社会問題研究部が「四万十川と21世紀を考える」シンポジウムを開催するなどしており、今や、四万十川流域の若者の動きが見逃せません。